



特集

2025年4月に乳腺センター開設！



箕面市立病院での乳腺診療について

箕面市立病院では地域がん診療拠点病院として乳がん診療を充実させるため、2025年2月より乳腺専門医である女性医師 阿部かおりが着任しました。

さらに2025年4月より、兵庫医科大学乳腺内分泌外科、三好康雄教授を招へいし、乳腺センターを開設します。今後より一層、乳がんをはじめとした乳腺疾患の治療を充実させます。

センターでは、専門のセラピストによるリンパ浮腫ケア、認定看護師によるがん相談、形成外科医と共同した乳房再建術など充実した診療体制で診療に当たっていきます。

また市立病院にはほぼすべての診療科がそろっていますので、持病をお持ちのかた、ご高齢のかたでも、安心して治療を受けていただけます。



乳がんの現状と治療

乳がんの増加

日本国内において女性のがんで最も多いのが乳がんであり、年間約10万人の人が乳がんにかかっており、箕面市においても年間100人のかたがかかっています。

乳がんになるかたは増加の一途をたどり、今や9人に1人となっています。

一方、乳がんで亡くなるかたは、約20%です。乳がんは治療として、手術のみならず、化学療法、ホルモン療法、放射線療法が確立されており、適切な治療を行えば十分に根治が望めるがんです。

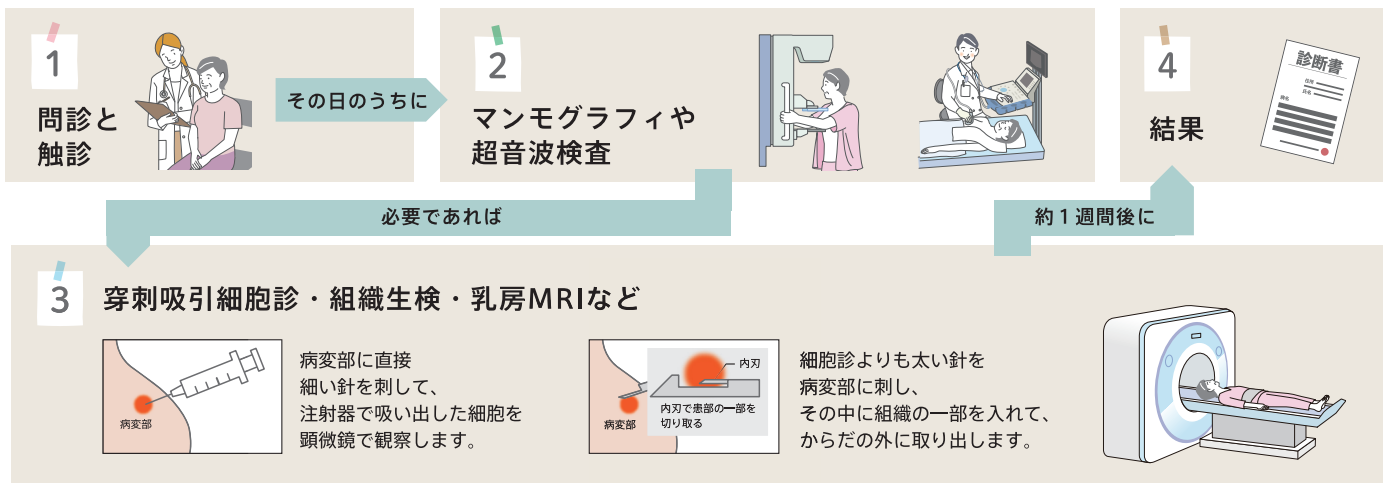


症状

乳房にまつわる症状には乳房の痛み、乳房のしこり、乳頭からの分泌があります。痛みについては、ほとんどがホルモンの変動によるものであり、特に危険な症状とはいえないことが多いです。しこりについては、良性の疾患もしくは乳がんの可能性がありますが、分泌については、血の混じった分泌であれば、乳管内乳頭腫という良性腫瘍か乳がんの可能性がありますが、

これらのことから、しこりや乳頭からの分泌があったり、その他気になる症状があれば、受診してください。乳がんは自分で発見できることもあるので、定期的な自己触診をおこないましょう。

乳腺外科での検査・診断・治療の流れ



乳がんと診断されたら

乳がんの初期治療は、下記のとおり1.局所療法 2.全身療法にわかれます。

1. 局所療法

手術
放射線療法

2. 全身療法

ホルモン療法 化学療法 抗HER2療法
分子標的療法 免疫療法

1と2の組み合わせで根治を目指した治療を行います。一般的な乳がんは手術だけでおしまい、ということはありません。全身療法は病気の状況によっては手術の前に行います。

手術は全身麻酔で約5~10日の入院を要します。放射線療法は手術の後に行いますが、乳房温存手術の場合は原則として必要です。

乳房切除術の場合は、リンパ節転移の有無によって放射線療法の追加を検討します。化学療法や分子標的療法、免疫療法を行う場合は手術前後に行いますが、約3~12ヶ月を要します。化学療法のための入院は原則として不要であり、外来で行えます。ホルモン療法は手術と化学療法の後に行い、5~10年を要します。

このように、乳がんは手術の後も長い経過の治療と経過観察が必要です。

リンパ浮腫ケア

専門の資格保有者によるケアが可能です。

がん相談

認定看護師による面談・ケアを行います。



乳房再建

形成外科と共同し、乳房再建も保険診療で可能です。すべてのかたが対象になるわけではありませんが、乳がんと診断され手術を受けられる場合はお気軽にご相談ください。



乳腺センター スタッフ紹介



センター長
三好 康雄

略歴

- 1984年 大阪大学医学部医学科卒業
大阪大学第2外科、
大阪府立成人病センター、
箕面市立病院、
英国王立癌研究基金留学、
大阪大学乳腺・内分泌外科
などを経て、
- 2007年 兵庫医科大学 乳腺内分泌外
科准教授
- 2009年 兵庫医科大学 乳腺内分泌外
科教授
- 2025年 箕面市立病院 病院長補佐・
乳腺センター長 就任予定

メッセージ

箕面市立病院において2025年4月
から乳腺センターを開設するに至
り、センター長を拝命いたしました
三好康雄です。どうぞよろしくお願
いいたします。

乳がんは女性にできるがんとして最
も多く、9人に1人が発症するとても
身近な病気です。乳がんの診療には
診断、手術、薬物療法などがかわ
るため、外科だけではなく、内科的
な診療も重要です。また治療に伴
ういろいろな影響に対処するため、
看護師や薬剤師を含めたチーム医療
が不可欠です。

この度、乳がん診療をより充実さ
せるために乳腺センターを立ち上げ
ることになりました。今まで大阪
大学、兵庫医科大学で乳がんの診療
に携わってきましたので、この経験
を活かし、大学病院や地域の医療機
関と連携して、最先端の医療を提供
させていただく所存です。4月から
スタッフも充実させて新体制にてス
タートいたします。

どうぞよろしくお願いたします。



医長
阿部 かおり

略歴

- 2008年 京都府立医科大学卒業
京都府立医科大学病院、
済生会吹田病院などを経て
- 2019年 大阪大学 乳腺内分泌外科 医員
- 2021年 大阪大学 乳腺内分泌外科
特任助教
- 2025年 箕面市立病院 外科医長

メッセージ

2025年2月より、箕面市立病院外科
に赴任いたしました。近年、乳がん
にかかるかたが増加しており、著名人
や周囲の方々が診断を受けることも多
くなっています。乳腺に異常を感じた
とき、多くのかたが不安を抱かれるこ
とと思います。

乳がん治療は、身体的、経済的、精
神的な負担が大きいため、私はその負
担を少しでも軽減できるよう、全力で
サポートいたします。どんな些細なこ
とでもお気軽にご相談ください。

また、甲状腺腫瘍の診断や手術適
応の判断、外来フォローなども行っ
ており、前職の大阪大学とも連携を
取りながら診療を進めてまいります。

大阪大学での経験を活かし、最新
の知見をもとに、皆さまの健康を
守るお手伝いをさせていただきます。

どうぞよろしくお願いたします。



特任部長
山本 仁

略歴

- 1979年 大阪大学医学部卒業
大阪大学第2外科、
市立伊丹病院、
那智勝浦町立温泉病院、
大阪船員保険病院、
大阪府立成人病センターなど
を経て
- 1991年 箕面市立病院 外科 医員
- 2006年 大阪プレストクリニック副院長
- 2016年 箕面市立病院 乳腺外科部長
- 2024年 箕面市立病院 乳腺外科 非常勤
医師

メッセージ

1991年より、途中空白はありまし
たが、多くの期間箕面市立病院で乳
腺外科を担当させていただいていま
す。

このたび乳腺センターが開設され
るにあたり、非常勤勤務ではありますが、
長年当院乳腺外科のチーム医療に
携わってきた経験を生かし、三好先
生、阿部先生とともに充実した医療
を提供できるよう努力いたします。

どうぞよろしくお願いたします。



乳腺外科より

乳腺外科外来では予約なし、紹介状
のない患者さんでも受診可能です。
(紹介状がない場合は初診料加算金として
7,700円(税込)を負担していただきます。)
何か気になる症状があればいつでも
お気軽にお電話ください。

■ 予約電話番号

072-728-2013

■ 診療時間

月曜日 ……9:00~17:00

水曜日 ……9:00~17:00

金曜日 ……13:00~17:00

(2025年4月以降)

TOPIK

4月1日から指定管理者制度で管理運営をスタート

医療法人の経営手法を活用して新たに動き出す箕面市立病院。

医療サービスのさらなる向上をめざします。

箕面市立病院での診療をこれまで通り継続

4月から指定管理者（医療法人協和会）による管理運営が始まります。指定管理になっても公立病院であることに変わりはありません。大阪大学医学部との強力な連携のもと、今まで以上に診療体制を充実させ、持続可能で質の高い医療提供体制を確保していきます。

外来での診療科及び診療時間は変更なく続けていきます。利便性向上のため、診療受付時間を30分延長し、午前8時30分から11時30分までにし、年末の診療日を12月29日までに延長します。また、救急外来で医師をサポートする「病院救急救命士」を配置し、救急医療体制を強化します。

運営形態は変わりますが、引きつづき箕面市立病院をよろしくお願い致します。



お気軽にご参加ください

がんサロンゆず

当院では、がんと診断された患者さん・ご家族が自由に参加できるがんサロンを偶数月の第4金曜日に開催しています。

患者さんのご家族同士の話し合いの場です。生活に役立つようなミニレクチャーも、30分程度あります。医療スタッフが一緒にサポートします。

「病気の悩みを話せない」・「家族としてどう接するべきか」。さまざまな悩みを参加者同士で語り合いませんか？

がんと診断されてから、患者さんやご家族はいろいろな思いを抱えながら、毎日の生活を過ごされていませんか。同じ経験を持つ患者さんの話を聞くことで、気持ちが軽くなったり、療養生活を快適に送る知恵を得られることがあります。初めてのかたも温かくお迎えします。

寄ってみようかなと思った時に気軽にお寄りください。

がんサロン ゆず



がんの正しい知識を

がん教育

健康と命の大切さ、がんの正しい知識を発信できるよう箕面市、豊中市の中学生、高校生を対象に「がん教育」の取り組みを行っています。

令和6年度は7回実施、のべ1,950名の生徒に向けてがん教育の授業をおこないました。

当院のがん治療に携わる医師からは、がんの病気と治療に関して、緩和ケア認定看護師からは、緩和ケアについてや、当院での取り組みについてお伝えしました。

